

地域再生計画（地方創生汚水処理施設整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	愛知県	事業実施主体	江南市	地域再生計画名	江南市「みんなでつくる持続可能で快適な生活環境づくり計画」
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	江南市企画部長 郷原実智雄		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値			事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	H26	年度	中間実績	基準年度	H31	最終実績		指標総数	達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	汚水処理人口普及率	66.0%	H26	72.4%	H29	75.6%	78.8%	H31	79.5%	○	3	2	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、汚水処理施設の効率的な整備ができ、最終目標値を上回って達成することができた。今後は下水道接続率向上に向け、普及啓発活動等に努める。
	指標2	浄化槽の雨水貯留施設転用基数及び貯留量	388基 760㎡	H26	478基 913㎡	H29	508基 1,176㎡	538基 1,015㎡	H31	579基 1,381㎡	○	3	2	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、効率的な下水道整備が行われたため、下水道接続人口が増加し、最終目標値を達成できた。今後は雨水貯留施設転用促進に向け、普及啓発活動等に努める。
	指標3	青木川のBOD 般若用排水のBOD	7.8mg/L 15.5mg/L	H26	7.3mg/L 14.6mg/L	H29	8.0mg/L 11.1mg/L	6.9mg/L 13.7mg/L	H31	8.7mg/L 10.7mg/L	△			般若用排水のBODについては達成することができたが、青木川のBODについては達成することができなかった。下水道への接続により下水道整備の事業効果があらわれるには時間がかかるものと考えられる。今後も下水道及び浄化槽の整備及び普及啓発に努める。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	汚水処理人口（市内全域）	68,002人	H26	-	H29	76,119人	81,183人	H31	79,897人	△			汚水処理人口普及率は達成することができたが、汚水処理人口は達成することができなかった。下水道及び浄化槽の整備については計画通り行っているため、今後も整備及び普及啓発により汚水処理人口の増加を目指す。
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度（H29）	最終実績									
	公共下水道事業（整備延長）		30,499m (4,769m)	11,432m (1,359m)	29,111m (3,443m)	地方創生汚水処理施設整備推進交付金の活用により、施工区域を効率的に整備ができた。今後も順次、下水道整備を推進していく。								
	個人設置型浄化槽整備事業（整備基数）		125基	61基	121基	個人設置型浄化槽整備事業として、汲取便槽や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対して補助金交付を行い、合併処理浄化槽の転換を促進し、公共用水域の水質汚濁防止に寄与した。平成30年度からは環境配慮型の要件を追加し、補助限度額を増額したことにより、平成30年度からの2年間に合計で60基の合併処理浄化槽が設置された。今後も市広報誌やチラシ配布などによる普及啓発を推進していく。								
その他の事業	第二次江南市環境基本計画の推進		第二次江南市環境基本計画に基づき、市民、事業者、市が協働で環境に関する取組を進める			第二次江南市環境基本計画策定時からの社会情勢の変化に伴い、中間年度である平成28年度に各目標及び指標などをより社会情勢に適合したものとするために計画を改定した。計画改定にあわせて、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）と生物多様性戦略計画を盛り込んだ。現在は、環境目標の達成状況や市民、事業者、市の取り組みの進捗状況を環境審議会に毎年報告し、適宜助言を受けて、PDCAサイクルを基本とした計画の進行管理を行っており、引き続き、目標達成に向けて取組を進めていく。								
	国営木曾三川公園フラワーパーク江南（江南花卉園芸公園）の整備促進		フラワーパーク江南第Ⅱ期計画エリアの整備を促進する			園路や管理施設整備など、令和3年度の開園を目指し、整備に取り組んでいる。引き続き、計画的な整備を促進することにより、地域の活力・魅力づくりや防災・減災機能の強化といったストック効果の向上を目指す。								
	宮田導水路上部整備事業の促進と遊歩道・サイクリングロードの利活用		暗きよ化された宮田導水路の上部空間を利用し、遊歩道・サイクリングロードとともに地域社会の活性化を図る			県営水環境整備事業において整備を進めている宮田導水路上部整備事業については、令和元年度までに函体上部及び右岸側の整備が完了している区間が、最下流の南野橋から新田橋までの区間、全体工事延長の約31%の割合となっている。上流部には、工事に着手している区間もあり、事業は着実に進められている。引き続き、事業が滞りなく円滑に進められるように事業主体である県と協議を実施していく。								
	水循環系の再生		雨水貯留施設等の設置推進と「緑のカーテン」チャレンジを実施する			雨水貯留施設等の設置推進については、平成27年度から平成31年度の5年間に347件の補助申請実績があり、各家庭からの雨水流出を抑制し、河川や水路の負担軽減に寄与した。今後も補助を継続し、雨水貯留施設等の設置推進に努めていく。「緑のカーテン」チャレンジについては、地球温暖化防止対策の推進を目的に市広報誌などで「緑のカーテン」にチャレンジしていただく方を募集している。令和元年度は、市民の方にあさがお・いがり・ミニトマトの種、プランター、培養土、堆肥のチャレンジセットを177セット配布し、チャレンジには178件の応募があった。また、チャレンジする公共施設には堆肥を合計200袋配布し、45件の応募があった。今後も、普及啓発を継続する。								
	地域の環境保全への取組		川と海のクリーン大作戦、こうなん美化ボランティア及び家族のシンボルツリーにより地域の環境づくりを推進する			川と海のクリーン大作戦については、年に1回の河川清掃を実施しており、参加人数は（平成27年度）1,469人、（平成28年度）1,489人、（平成29年度）雨天中止、（平成30年度）1,357人、（令和元年度）1,187人となった。他の行事と重なる時期にも関わらず多くの市民が参加しており、環境保全に関わる意識の高まりが感じられた。今後も主催者である国と歩調を合わせ、清掃活動を実施していきたい。こうなん美化ボランティアの実施状況は、（平成26年度）27団体530人、（平成27年度）27団体513人、（平成28年度）28団体542人、（平成29年度）34団体572人、（平成30年度）37団体552人、（令和元年度）31団体548人となっている。団体数、活動参加者数共に一定の割合で変動しており、今後も市広報誌及び市ホームページで、こうなん美化ボランティアの紹介を行い、登録者数の増員を図っていく。家族のシンボルツリーについては毎年500本以上の配付実績があり、今後も積極的なPRを行うことにより身近な緑の創出に努める。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	江南市環境審議会及び江南市下水道事業経営戦略策定委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	令和3年1月中旬頃、江南市秘書政策課のホームページに掲載（ https://www.city.konan.lg.jp/shisei/shisaku/1005454/1003802.html ）													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生汚水処理施設整備推進交付金を活用した公共下水道と個人設置型浄化槽を効率的に整備しており、おおむね計画通りの整備量を実施することができた。最終年度の目標値は一部達成できなかったが、汚水処理人口普及率は向上しており、事業実施による効果はあるものと考えられる。													
⑦今後の方針等	汚水処理施設の整備による公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全是、将来の世代へも美しい水環境を引き継ぐことにつながることから、今後は、公共下水道は原則市街化区域で整備を行う市の方針も踏まえながら、計画的な公共下水道の整備・推進を行うとともに、公共下水道区域外の地域においては個人設置型浄化槽の補助を継続し、引き続き持続可能で快適な生活環境づくりを推進する。													